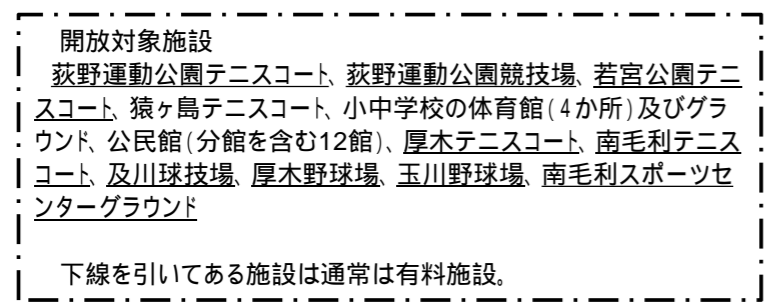


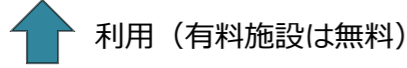
【事業番号4】年末年始公共施設の開放 事業概要シート

担当部名	総務部	事業名 (子事業名)	年末年始公共施設の開放
担当課名	行政経営課	根拠法令・例 規・要綱等	関係各施設設置に係る条例及び施行規則
担当係名	行政改革推進係		
事業開始年度	平成16年度		
関連する事業 (子事業名)			
事業概要			
目的	年末年始に公共施設を開放することで、スポーツや読書に親しむ機会の提供を更に拡充するとともに、市民サービスの向上に資するもの。		
対象	市内在住、在勤、在学の市民		
実施方法	市内公共施設（スポーツ施設及び図書館）について、年末年始の6日間の開放を実施。（有料施設は無料で開放）		
事業詳細	<p>市内のスポーツ施設（荻野運動公園テニスコート及び競技場、若宮公園テニスコート、猿ヶ島テニスコート、厚木テニスコート、南毛利テニスコート、及川球技場、厚木野球場、玉川野球場、南毛利スポーツセンターグラウンド、小中学校体育館・グラウンド）、公民館（分館を含む12館）及び中央図書館について、年末（12月29日～31日）・年始（1月1日～3日）に開放するもの。 なお、施設使用料が設定されている施設については、当該期間は無料で開放している。 中央図書館については、12月29日・30日の2日間の開館</p>		
事業の効果	年末年始に公共施設を開放することで、スポーツや読書に親しむ機会の提供を行うことができた。		
事業周知方法 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報あつぎ及び公民館だよりへ掲載 ・市ホームページへ掲載 		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）



小中学校の体育館及びグラウンドについて、年末年始は改修工事が入る場合があり、年度によって開放施設が異なる。
小中学校の体育館については、公民館に体育施設がない地区のみ開放している。



市民

年末年始公共施設開放に係る利用者数一覧

施設等の種別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	利用者数	1日平均	1施設1日当たりの利用者数	利用者数	1日平均	1施設1日当たりの利用者数	利用者数	1日平均	1施設1日当たりの利用者数
テニスコート	2,452	408.7	81.7	1,956	326.0	65.2	2,174	362.3	72.5
その他スポーツ施設	883	147.2	29.4	542	90.3	18.1	1,084	180.7	36.1
公民館体育室等	438	73.0	6.1	597	99.5	8.3	582	97.0	8.1
小中学校体育館	359	59.8	15.0	258	43.0	10.8	85	14.2	14.2
小中学校グラウンド	395	65.8	1.8	126	21.0	0.6	315	52.5	1.5
中央図書館	1,480	740.0	-	1,271	635.5	-	1,273	636.5	-
合計	6,007	1,001.2	-	4,750	791.7	-	5,513	918.8	-

テニスコートは5か所、公民館12館（分館含む）、小中学校の体育館4か所、小中学校グラウンド36か所となっています。

代表的な事業指標	指標名	施設の利用者数					
	指標の説明	開放施設の利用者数の合計					
		単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	指標備考
	目標	人	5,300	5,500	5,500	-	平成28年度については、当該事業の方向性の検討を実施するため、目標値は設定していない。
実績		6,007	4,750	5,513			
達成率		113.3%	86.4%	100.2%			

事業のコスト				
コスト	単位	平成26年度（決算）	平成27年度（決算見込み）	平成28年度（予算）
	事業費	2,088	2,085	2,086
	人件費			
	総計	2,088	2,085	

人件費内訳	平成26年度人件費内訳（単位：千円）				平成27年度人件費内訳（単位：千円）			
	行政職1	@ 8,251 ×	人 =	0	行政職1	@ 8,421 ×	人 =	0
	行政職2	@ 8,054 ×	人 =	0	行政職2	@ 8,304 ×	人 =	0
	消防職	@ 8,540 ×	人 =	0	消防職	@ 8,672 ×	人 =	0
	再任用	@ 3,455 ×	人 =	0	再任用	@ 3,514 ×	人 =	0
	臨時職員	@ 1,190 ×	人 =	0	臨時職員	@ 1,186 ×	人 =	0
	その他	×	人 =	0	その他	×	人 =	0

事業費及び財源内訳（千円）	年度	総 額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H26（決算）	2,088	2,088			
	H27（決算見込み）	2,085	2,085			
	H28（予算）	2,086	2,086			

事業費内訳
年末年始の開放対象施設の指定管理料又は委託料から試算（光熱費等は含んでない）

市民要望社会的要請課題
平成26年度にインターネットモニター155人を対象にしたアンケート結果では、年末年始については、帰省する人や仕事の人も多く施設を利用できない人もいるはずなので、開放する必要性を感じないという意見があった。
子どもたちが遊ぶことのできる広場が少なくなっている昨今、年末年始にグラウンドなどの施設が開放されていることはよいことであるという半面、費用対効果を考えると無料開放については、疑問があるという意見があった。
開放施設の有料化等を含めた今後の在り方を検討する必要がある。

上記課題等への対応や見直しの方向性
開放施設の箇所数、無料開放の継続の是非等を含め、平成28年度の実施に向けて一定の方向性を決定する。

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容
見直しの有無 無
利用者数の推移や費用対効果等の観点から、平成19年度及び平成24年度に施設開放の在り方を検討した結果、本事業を継続することになった経緯がある。